

町長　浦西駅周辺はまちづくり調査が今進められており、特に県や那覇等の都市インパクトを受ける大変重要な地域。何より地権者・所有権者等の方々の理解と協力が大前提であり、説明会の中でも十分理解を頂きながら、この計画をしっかりと着実に進めていきたいと考えております。

問 西原町の文化財の指定のあり方にに対する認識を問う。また総合的な見地から西原町長としての見解は。



都市モノレール浦西駅イメージ

建設產業常任委員會所管事務調查報告(要旨)

11月12日から14日にかけて、建設産業常任委員6人、事務局1人で、石川県金沢市に所管事務調査を行いました。調査項目は①加賀野菜②金沢市農産物ブランド協会③観光協会④金沢市MICE推進協議会の4つです。

①については、現在、「加賀野菜」のブランドとして認定されているものは金時草(沖縄方言でハンダマ)など15品目あります。②については、加賀野菜のブランド認定と消費宣伝活動を主な活動内容とし、加賀野菜の中でも等階級で最も品質の良い品目のみを認定して、差別化を図っています。さらに、加賀野菜ブランド成功を受け、加賀野菜以外の優れた品質や豊富な生

い商品のみを認定して、差別化を図っています。さらに、加賀野菜ノブリット成功を支えた加賀野菜が多くの品質、豊富な生産量を持つ農産物を「金沢そだち」として新たにブランド創出するなど、金沢産農産物の生産の振興と消費の拡大を図っています。③については、昭和24年に金沢市が観光都市に指定されたことに伴い設立され、金沢駅の高架化・金沢百番街の整備に合わせ、金沢駅内に事務局があります。金沢市と連携した様々な活動の中でも、金沢観光ボランティアガイドの会「まいどさん」については、旅行者へのガイドにとどまらず、市民を対象にまちの魅力を伝える活動、各種フォーラムの講師など、今年度20年目を迎えて、観光協会の活動や地域活動に大変貢献しています。④については、北陸新幹線金沢開業を見据え、金沢市のMICE誘致推進を図ることを目的に、官民が連携し、MICE商品の開発や首都圏を中心とする誘致セールス、地元の人材育成等を展開する組織で、MICEのMと共に特化した「まちなか」全体を会場として使うオリジナルな活動を行っています。



「まちのり」というレンタサイクル制度も充実



金沢市 MICE 推進協議会の取り組みの説明のもよう

問　て 東部清掃に、南風原町と中城村、北中城村が入り、国への申請が遅れたようでありますので、その進捗状況を行政側が分かるなら、教えて頂きたい。

強化していくたいと考えております。
問 少雨によるサトウキビが立ち枯れているが、県の下水処理施設の処分水を利用できる方法を検討できないか。
建設部長 浄化センターからの処分水を確保するのに時間がかかり非常に効率が悪いということであり、今後、農家からの要望等、情報収集しながら対応を検討したいと思う。



し尿処理施設（在：小那霸）

- ◇し尿処理施設の進捗状況
- ◇環境整備
- ◇下水処理施設の
処分水の利用

建設部長 町道等にあるダーレーチング等の確認は、道路巡回時に確認している。

5万円です。第三工
一善(株)、㈲明生建設、
建設の三者JVで7
20万円。電気設備
工事(株)、

一括交付金は町内自治会で活用できるメニューがあるか。他の市町で何を改めていたいと思います。

- ◇ 庁舎等複合施設
建設工事の件
- ◇ 西原台団地の件
- ◇ 一括交付金の活用

建設工事の進捗状況はどうなっているか。工事発注に際し、町内、町外企業別に金額を示してもらいたい。町内、町外それぞれ何パーセントになるのか。

JVで1億7199万円
太陽光発電設備工事で佐川
川電研の単独請負で754
9万5千円。合計29億1
8万5千円、町内企業11
で61%、町外企業7社で
39%です。



西原台団地自治会事務所